年間授業計画　新様式例

高等学校　令和8年度　（１　学年用）　教科　数学　科目　数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ組

教科担当者：　村山　司

使用教科書：　（　新　高校の数学Ⅰ　数研出版　）

教科　数学　の目標：

【知識及び技能】　数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目　数学Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に予測し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元名 数と式 【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を目的に応じて適切に変形する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度を養う。	・正の数，負の数の四則計算と分数の計算。 ・四則の混じった計算の優先順位。 ・文字を使った式で数量を表すこと。 ・整式の加法，減法の計算。 ・指数法則や分配法則を用いた整式の乗法計算。 ・プリントとＩＣＴパソコンを使う。	【知識及び技能】 正負の計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 四則計算では、計算順序を考えて計算ができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 計算方法を工夫したり学習してきた内容について整理し，考察しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元名 数と式 【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を目的に応じて適切に変形する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度を養う。	・展開の公式の利用。 ・共通因数をくくる因数分解。 ・公式を利用した因数分解。 ・文字を置き換えた展開と因数分解。 ・プリントとＩＣＴパソコンを使う。	【知識及び技能】 公式等を適用し展開や因数分解ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文字の置換え、公式が適用できるか見通せる。 【学びに向かう力、人間性等】 置換え等の工夫でより良い方法を考察しようとする。学習してきた数の体系について整理し，考察しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2学期	単元名 数と式 【知識及び技能】 事象を数学化や数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を目的に応じて適切に変形する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度を養う。	・根号を含む式の加法 ・平方根の減法・乗法の計算と分母の有理化。 ・実数を有理数と無理数に分類する。 ・分数を有限小数と循環小数に分類する。 ・絶対値を意味を理解する。 ・プリントとＩＣＴパソコンを使う。	【知識及び技能】 根号を含む計算と分母の有理化ができる。 有理数と無理数、実数について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 根号を含む計算で展開公式の適用ができる。 実数を数直線上の座標と考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習してきた数の体系について整理し，考察しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	単元名 ２次関数 【知識及び技能】 事象を数学化や数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を目的に応じて適切に変形する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度を養う。	・方程式における解の意味を理解し，1次方程式を解く。 ・不等号の意味を理解する。 ・不等式が値の範囲を表すことを理解し，その範囲を数直線上に表す。 ・不等式の性質を理解する。 ・不等式の会の意味を理解し,1次不等式を解く。 ・連立不等式の意味を理解し、連立不等式を解く。 ・プリントとＩＣＴパソコンを使う。	【知識及び技能】 方程式・不等式における解の意味を理解し，1次方程式や1次不等式を解くことができる。不等式の性質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質を基に、1次不等式を解く方法を考察できる。日常の問題解決に1次方程式・1次不等式を活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 不等式の性質を等式の性質と，1次不等式の解法を1次方程式の解法と比較して考察しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3学期	単元名 ２次関数 【知識及び技能】 二次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解す 【思考力、判断力、表現力等】 事象を的確に表現し式，グラフを相互に関連付け考察する力を養 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。	・関数について理解する。 ・関数の値を求める。 ・対応表を利用して、関数のグラフをかく。 ・放物線の形や軸，頂点について理解する。 ・二次関数のグラフを平行移動して、グラフをかく。 ・プリントとＩＣＴパソコンを使う。	【知識及び技能】 関数について理解し、関数の式とグラフの関係について，多面的に考察し、関数の式から関数のグラフをかくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 関数について理解し、関数の式とグラフの関係について，多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象の中に関数を見つけようとする。放物線のもつ性質に興味・関心をもち，自ら調べようとする。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
							合計
							70